

松蔭中高図書館発行
library@shoin-jhs.ac.jp
編集：眞鍋
次回発行は2月下旬予定

はと時計

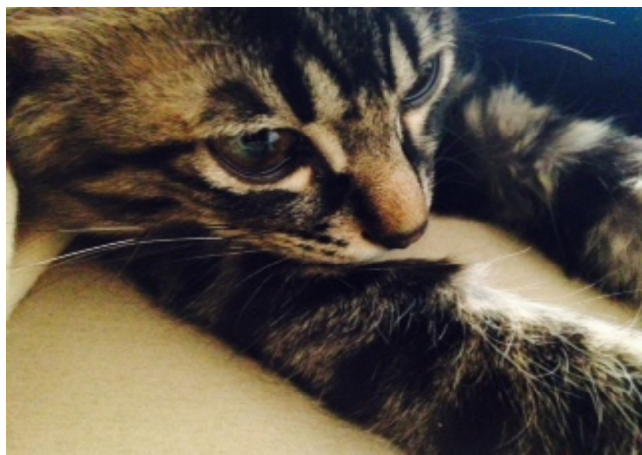
猫はどんなに小さくても最高傑作である

なんて読む？

子子子子子子子子子子

正解は猫の子の子猫、獅子の子の子獅子（宇治拾遺物語 巻三17）
あけましておめでとう！今年の干支は申で、お猿さんの年賀状をもらった方も多
いと思います。が、今回は日常親しまれているのに干支に入れなかった猫を特集します。

十二支に入れなかったのが猫がねずみにだまされた、
というのが一般的ですが猫が自ら参加を拒み、「悪い
仲間の狸と狐をさそって野原でおけさ踊りをした」と
いうフクシマのお話もあります。「『十二支のはじまり』
谷真介文 赤坂三好絵 1996 校正出版社



ペットとしては犬の数を逆転？

古典のなかの猫

『源氏物語』では若菜の段で柏木が猫のいたずらで御簾がめくれてしまい、女三宮の姿が見えてしまって許されぬ恋に落ちるさまが描かれています。

『枕草子』では命婦のおとどという、天皇から位をもらった猫が縁側で昼寝しているところを犬がおどかして天皇のところに飛び込んだために、犬は天皇の逆鱗に触れ、島流しになる話ができます。

夏目漱石の『吾輩は猫である』の猫はかなり鋭い人間・文明観察を繰り広げますが、作者の漱石が猫嫌いだったせいで最後まで名前をもらえません。漱石の弟子の内田百閒は対照的に『ノラや』は飼ひ猫ノラへの愛情があふれています。いなくなったノラのため新聞広告を出すわ、チラシを配るわ（外人が知らないかと英語版までやる、風呂のふたに乗っ

て暖まっていたノラを思い出すから風呂にも入れず、寿司のネタをみて卵が好きだったことを思い出しては寿司が食べられなくなる。『お富の貞操』芥川龍之介著（芥川龍之介全集5ちくま文庫1987所収）

海外小説の猫

『夏への扉』ハインラインのあまりにも有名なSFの傑作です。飼ひ猫のピート

The smallest feline is a masterpiece. (ダ・ヴィンチ)

は冬になるといつも夏への扉を探し回るのでした。猫って不思議ですがなにもない宙をみつめていることがよくありますよね。

『牝猫』シドニー・コレット著 岩波文庫 1988 猫に心を奪われてしまった男が人間の女を愛せるはずがなかった…。

『キャッツ ポッサムおじさんの猫とつき合う法』T・S・エリオット著 ちくま文庫 2002

ミュージカル「キャッツ」の下になった詩集。イギリスでこれをミュージカルにする際にいろいろな猫がでてくるだけのミュージカルがウケるわけがない、とスポンサーがなかなか集まらなかったと聞いています。でも世界的なヒットになりました。本校も団体鑑賞で劇団四季の公演を見に行ったことがあります。ミュージカルのサウンドトラックCDやパンフレットも図書館にありますよ。

推理小説の祖エドガー・アラン・ポーの『黒猫』短編ですが強烈な印象です、猫は怖いです、怒らせると。

『こねこのぴっち』ハンス・フィッシャー文・絵 岩波書店 1987

他の動物がうらやましくてならないこねこのピッチ。

でもほんとうに自分勝手なくらいマイペースなところは猫ならではの気性です。

『ジュニ』ポール・ギャリコ著 新潮文庫 1979 猫が大好きな少年が、ある事件で白猫になってしまった。猫として生きるには？をおしえてくれるのが野良のメス猫ジュニ。いろいろ教えてもらった少年は成長するのですがジュニのラストが悲しい。

『図書館ねこデューイ』ヴィッキー・マイロン著 早川書房 2008

アメリカの図書館で失業者や障害者のこころを癒したトラジマの猫のドキュメンタリー。猫アレルギーにはどう対処したのか？この

デューイはもちろん十進分類法のデューイ。アメリカには図書館ねこが結構いるそうです。広報したり、利用者をお出迎えしたり、たくさん仕事があるんですよ。和歌山電鉄のたま駅長2世みたいですね。

『ドリトル先生』シリーズ ヒュー・ロフティンク 岩波少年文庫 1991～

動物の言葉を話すドリトル先生の話には猫肉屋のマシュー・マグがでてきます。猫の肉を売っているのではなく、猫にえさをやるくず肉屋さんだったようで、スポンサーの猫をおぼえないといけないなかなかたいへんな職業だったようです。

『不思議の国のアリス』のチェシャ猫は有名ですね。『誰も猫には気づかない』アン・マキャブリー著 創元推理文庫 2003

猫好きはいい人、猫嫌いは悪い人で話が進むファンタジー。頼りになる摂政が亡くなって若い王様に残されたのは一匹の猫。彼は国をのっとりとする邪悪な隣国の王から守れるのか？

童話の『長靴をはいた猫』を思い出します。

『猫ねこネコの物語』ロイド・アリグザンダー 評論社 1988

生まれてから一度も「ダメ」という言葉を聞いたことが無い大王。その大王に「ダメ」と言ったねこ、バラカの運命や如何に？！…

「くだめ」といったネコなど8つのねこの話が収められています。

『黄色い猫の秘密』エラリー・クイーン著 ハヤカワ文庫 1979

大きな黄色い猫とであった少年ジュナ。この猫、虫歯

を治しに行くのだと聞いて驚くのですが…スペイン語で黄色い猫ってどういうんだっけ？



『猫は爆弾を落とす』『猫はコインを貯める』『猫は郵便配達をする』『猫は火事場にかけてける』リリアン・J・ブラウン著 ハヤカワ文庫 2002～
シヤム猫ココ・シリーズです。グルメにはたまらないおいしいお料理がたくさん登場します。

作家の猫は何を食べる？

三島由紀夫の書斎机の引き出しにはいつも煮干がはいっていたそうですが、実際に猫まんま（ごはんにかつおぶしをかけたもの）をあげていた作家は少なかったようです。（また現在では人間の食べものは猫の腎臓によくないと言われています。）

『裸の王様』で芥川賞をとった開高健の猫たちはアジの水煮やカツオ節やプロセスチーズが常食でヨーカンや手焼きせんべい、味付ノリ、キャラメル、ネズミ、ズメ、コオロギ、ハエ、カマキリ、ロックフォールチー





ズなども食べたそうです。『首都消失』『日本沈没』などで

有名なSF作家の小松左京の猫は生野菜しか食べず、八百屋からなすやピーマンを盗んでは追いかけていたというベジタリアンキャット。でも2015年度ノーベル文学賞受賞のアレクシエービッチ『チェルノブイリの祈り』にも畑の野菜を食べる猫の話がでますから野菜を食べるのは意外と珍しくないのかもしれない。

直木賞作家の神吉拓郎の猫はコーヒーを好み、熱い焼き芋を半分は食べてしまう猫舌ではない猫でした。ノーベル文学賞を受賞し

た、『老人と海』などで知られるヘミングウェイの猫好きは有名。彼の愛猫ボイシーはオイルとビネガーのドレッシングがたっぷりかかったアボカドや冷たいマンゴー、ビタミンBのカプセルまで好んで食べたそうです。

飛行機事故で急逝してしまった直木賞作家向田邦子の愛猫は魚屋からとどいたトビウオ10キロを「プロ用のズン胴なべで何回にも分け薄味で煮付けて、荒熱が取れるのを待って1回分ずつポリ袋に冷凍しないといけなかった。彼女は台所で三時間奮闘したらしいです。

『道化師の恋』などで有名な作家金井美恵子の猫は平



貝、タコ、赤貝、アオヤギと小岩井ヨーグルトなどで冷凍の魚は一切食べない。彼女はメバル、カレイ、甘エビ、イセエビなどをクール宅急便で取り寄せて食べさせているとか。人間より上等なものを食べていますね…。

日本小説の猫

ドラエもんは猫型ロボットだし、『となりのトトロ』のネコバスだって国際的に有名。そんな日本の小説にでてくるネコは

『世界から猫が消えたなら』川村元気著 マガジンハウス 2012

余命7日と宣告された青年が、悪魔に世の中から何か一つ消せば一日寿命を延長できると言われます。今まで自分が生きてきたなかでどれが必要でどれがいらなかった？初恋、母の思い出、あきらめた夢？ことばを話せない、人間によりそうネコがいとしいです。

今年5月に佐藤健と宮崎あおいで映画化。『旅猫レポート』有川浩著 青い鳥文庫 2015

余命わずかの飼い主と猫の、新しい飼い主を探す旅。飼い主の青年がいいひとすぎたり、ラストがわかっているけど号泣必至です。

『四畳半神話大系』森見登美彦著 角川文庫 2005 では猫から出汁をとっている

といわれる猫ラーメンを出す屋台が登場します。モデルとなる屋台もあるとか。

『キャットフード』森川喜著 講談社文庫 2013

化け猫が新鮮なキャットフードを売り出す計画を立てました。その材料とはなんと、人間！人間を殺して缶詰にして売り出すため、とある孤島に人間を誘い込むのだが、そのなかに人間に恩義を感じる化け猫が混じっていて…。ネコ同士の化かしあいが面白い一冊。ちょっと宮沢賢治の『注文の多い料理店』を思い出しますね。宮沢賢治はネコ嫌いだったそうです。志賀直哉（友人の谷崎がまた猫好きでいや～な顔をしていた）、下母沢寛もチェーホフも。

『猫と庄造と二人のおんな』谷崎潤一郎著 新潮文庫 1980

おんなよりもペルシャ猫のリリーの方がなまめかしののがすごい。

『猫にかまけて』町田康著 講談社文庫 2010

「猫を好きなのは“犬人間”で、犬が好きなのは“猫人間”なんですよ。“犬人間”は犬のように誰かに尽くすのが好き。相手に一生懸命、何かしてあげたい人。だから、猫を世話し、尽くすのが我



3月15日 (火)

13:00~14:30

第6回松蔭読書会を実施

します。

現在、カウンターで課題図書の設定投票を実施中です。(1月末まで)。



毎回好評の課題図書に関連するお菓子も作る予定です。



ネコ以外にも！

王子動物園の動物ガイドツアーを1月19日(火)まで募集します。

飼育係や獣医さんからえさや飼育方法など動物園の貴重な裏話が聞けます。動物好きな人、ぜひ申し込んでください。

詳細はカウンターまで

が身の喜び、幸せなんです。逆に“猫人間”は誰かに何かしてもらるのが好き。だから犬が忠実になつてくれるのがうれしい」という町田さん本人は自称“犬人間”だそうです。

『吾輩は猫が好き』野坂昭如著 中公文庫 2001

猫ほど絵になる生きものも他に求めがたいそうです。

現実の猫を知る

『ブルース・フォーク博士のわかりやすい猫学』

ブルース・フォーク著 インターズー 2005

猫の起源、品種、行動、猫との暮らし、病気などカラー写真豊富で見ごたえ十

分の楽しい本です。

『猫ちゃんを救え！人にも猫にも優しい街づくりを提案』松浦美禰子著 人類文化社2001

殺処分される頭数が犬より増えた猫。どうすれば野良猫

をめぐるトラブルを解決できるのか、「地域猫」という方法を紹介。

さくら耳って知っていますか？耳にさくらの花びらのように切込みをいれた猫のことです。不要に殺処分される子猫を増やさないう、不妊手術をうけた猫の

『ラオスにいったい何があるというんですか？』村上春樹著 文藝春秋 2015

村上春樹の最新作。世界各国の紀行文です。熊本の書店で朗読会をした理由がそこのかわいい看板猫に会いたかったからという村上さん。神戸にも魅力的な猫の、こちらは古本屋があります。灘駅ちかくのワールドエンズガーデンという、品揃えの良い古本屋です。

猫好きはやさしいか？